

WPM導入事例

株式会社ポッカコーポレーション
情報システムグループ 高橋 宏

目次

- 当社の概要
- 主な商品
- 当社情報システムの変遷
- WPMシステム導入
- WPM導入前の電子帳票
- WPM導入後
- 導入後の効果
- 移行スケジュール
- WPMを導入した感想
- 今後の課題と展望

当社の概要

- ◆ **社名** 株式会社ポッカコーポレーション
- ◆ **創業** 昭和32年2月
- ◆ **事業内容** 飲料、食料品及び酒類の製造販売、仕入販売他
- ◆ **本社** 名古屋市東区代官町35-16
- ◆ **売上高** 81,021百万円（平成12年3月期）
- ◆ **従業員数** 786名
- ◆ **製造工場** 名古屋・群馬
- ◆ **R & D部門** 基礎技術研究所・飲料開発研究所・食品開発研究所
- ◆ **営業拠点** 29拠点
 - ◆ **【東日本販売カンパニー】** 盛岡、仙台、郡山、首都圏第一、首都圏第二、高崎、宇都宮、水戸、東京、埼玉、千葉、横浜、新潟、長野
 - ◆ **【中部販売カンパニー】** 金沢、静岡、名古屋、三河、中部量販、中部自販機
 - ◆ **【西日本販売カンパニー】** 大阪、京都、近畿量販、近畿自販機、高松、松山、岡山、広島、九州
- ◆ **URL** <http://www.pokka.co.jp/>

主な商品

POKKA COFFEE
 いれはじめのうまさだけ

【ファーストドリップ】



当社情報システムの変遷

- ◆ 1980年代 NEC社ホストコンピューターを導入、基幹業務を運用
- ◆ 1992年 10月 一部国税関係書類のCOM化開始（マイクロフィルム化）
- ◆ 1995年 全システムの再構築を検討開始
- ◆ 1998年 1月 情報系マシンとしてAS / 400モデルS30を導入
4月 基幹系マシンとしてAS / 400モデル650を導入、
同時に3130プリンター1台を導入
- ◆ 1999年 4月 AS / 400による新システム稼動開始、
同時に、磁気テープ交換による電子帳票CD - R化の開始
- ◆ 2000年 6月 3130プリンター1台を増設
- ◆ 2001年 2月 WPM導入

WPMシステム導入

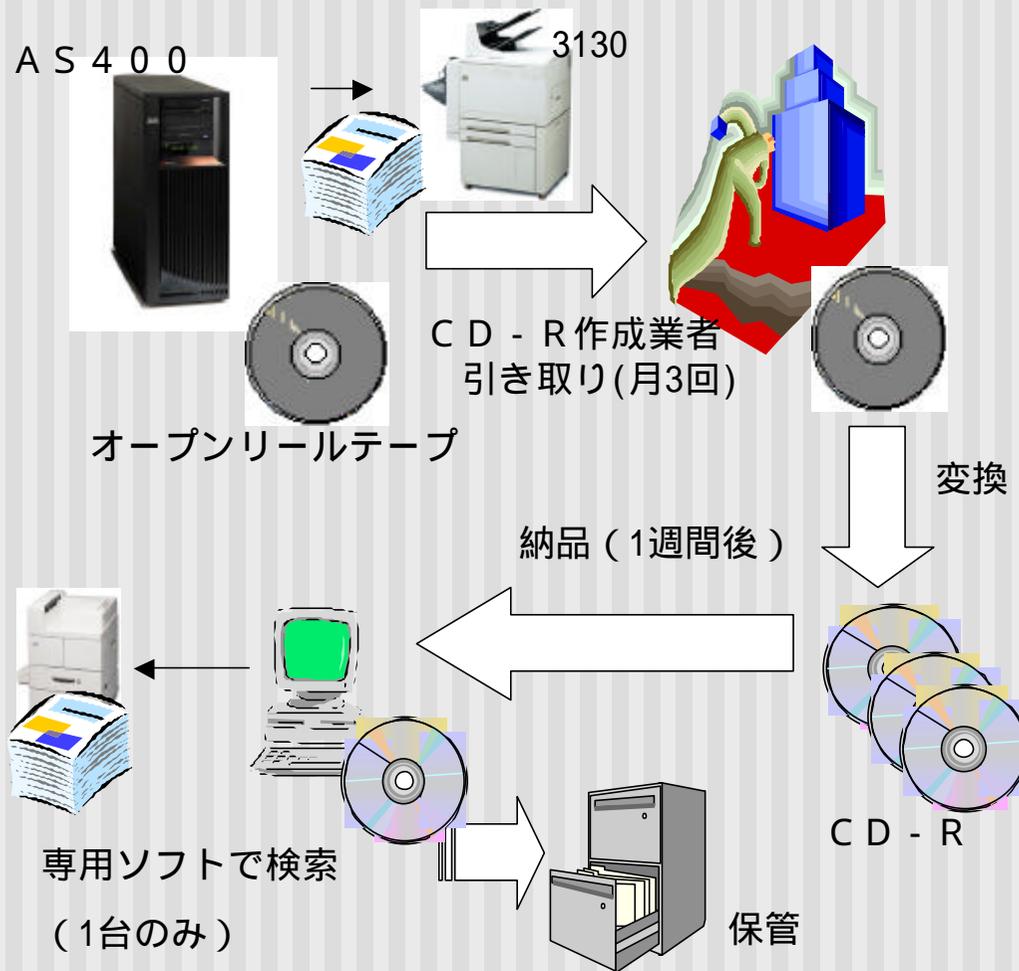
◆ 導入のねらい

- ◆ 電子帳票CD-R化にかかるコストの削減
- ◆ 電子帳票化の推進による用紙、保管スペースの削減
- ◆ 帳票配送にかかるコスト削減（人件費、配送費）
- ◆ 災害時、バックアップ拠点における3130プリンターの代用

◆ WPM（Web版）選定理由

- ◆ IBMの純正品で信頼性が高い
- ◆ Web対応である
- ◆ 検索機能の豊富さ
（セル検索、名寄せ検索、EXCELへのダウンロード機能など）
- ◆ CD-Rへの自動書込み機能がある
- ◆ AFPの罫線がそのまま反映される
- ◆ 10ユーザーライセンスで安価に導入できた

WPM導入前の電子帳票



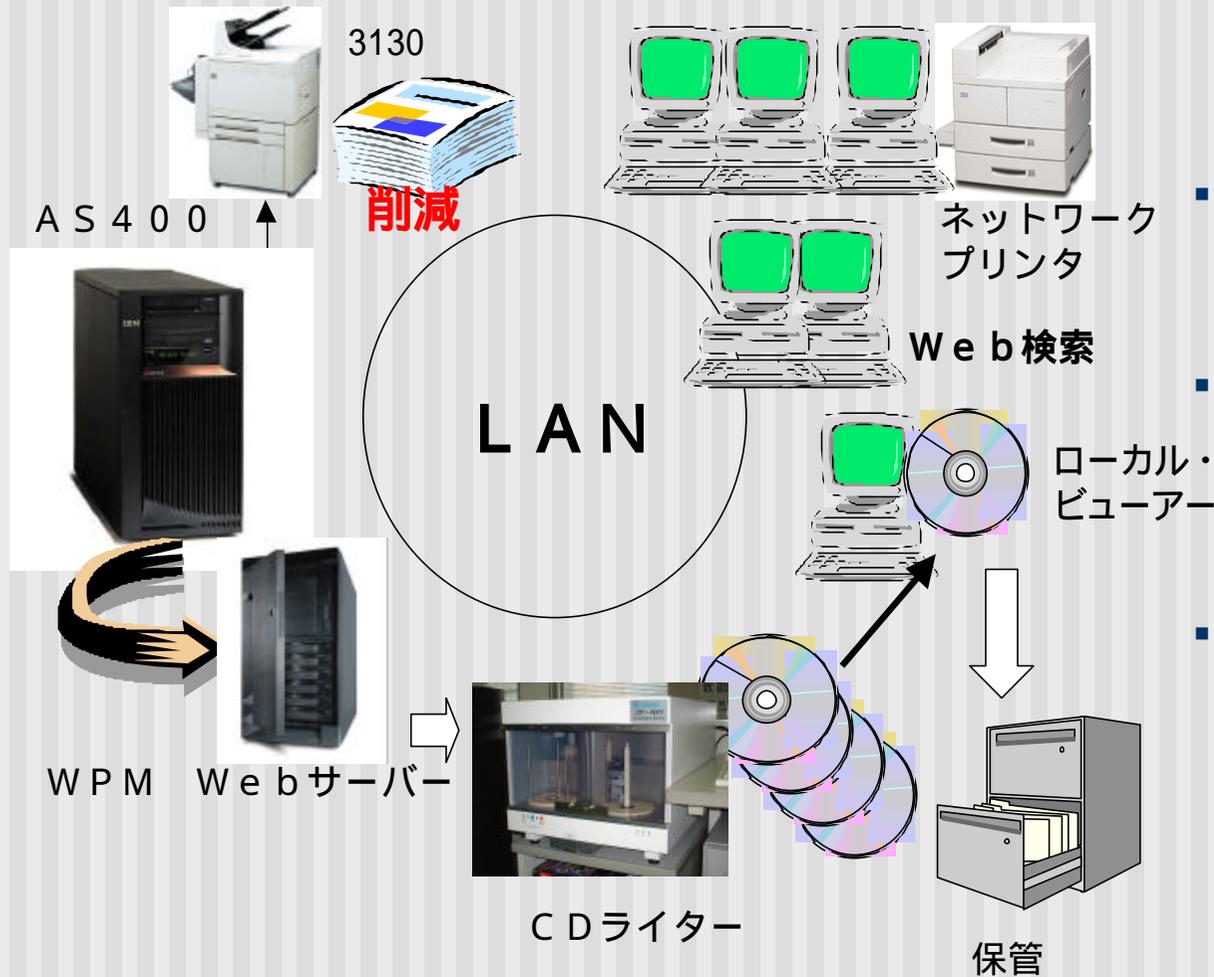
- 毎月のCD作成コストが高い
- タイムリーに電子化できない
- 検索できるパソコンは1台のみ (CD-R)

■ 主な電子化帳票

- 請求書、請求明細書
- 売上傳票、在庫伝票
- 補助簿
- 棚卸関連資料

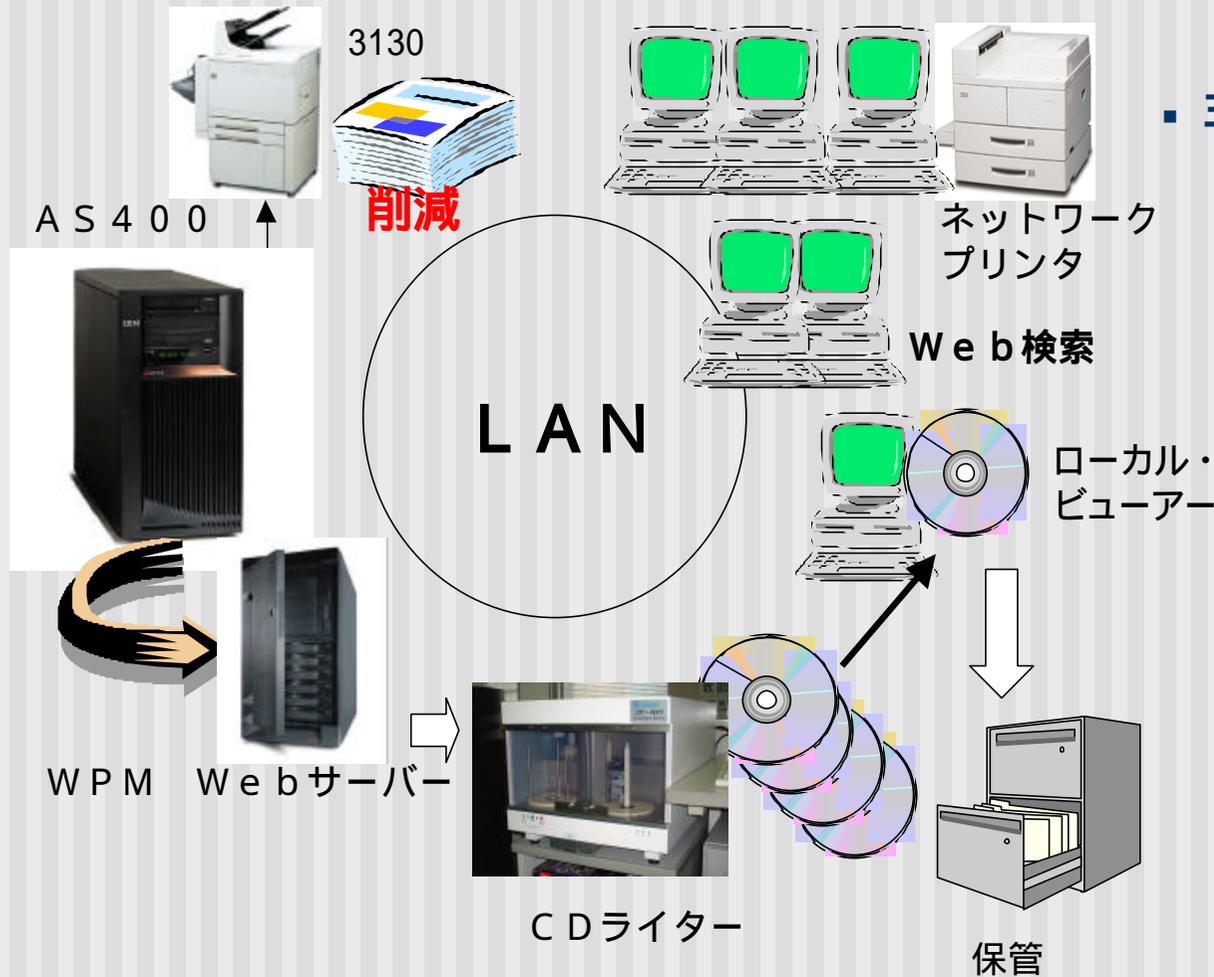
- 合計 約68万枚/年

WPM導入後



- ネットワークを利用し、複数端末で検索
- サーバーからCD-R媒体に自動書き込み（電子帳票の内製化）
- CD-Rからも検索

WPM導入後



■ 主な電子化帳票 (印は追加した帳票)

- 請求書、請求明細書
- 売上傳票、在庫伝票
- 補助簿
- 棚卸関連資料
- 倉庫別支払明細書 ()
- 運賃支払明細書 ()
- 財務用原価明細表 ()
- 原材料受払明細表 ()

- 合計 約78万枚/年
(+ 約10万枚/年)

導入後の効果

1. 定量効果

- ◆ 電子帳票化コスト削減 年間 約200万円
- ◆ 帳票仕分け作業の削減 年間 24人日
- ◆ プリンター用紙の削減 年間 約7万枚
- ◆ 帳簿保存スペース削減 キャビネット 6個分

2. 定性効果

- ◆ AS / 400で書き出し後、すぐに検索が可能
- ◆ システム部門での電子帳票媒体作成、受け渡し業務の廃止
- ◆ 帳簿検索作業の簡易化

移行スケジュール

1. 2000年11月～12月 WPM移行対象帳票の洗い出し
2. 2000年12月 国税局へ電子化帳票（4月分～）の申請
3. 2001年1月 WPM Webサーバー導入
4. 2001年2月～3月 WPMの機能習得
5. 2001年3月 ユーザーへデモ、機能説明
6. 2001年3月～5月 タグ情報付加のためのプログラム変更、一部APW帳票をAFPに変更
7. 2001年6月～8月 セル検索キーの設定、出力テスト
8. 2001年8月～ サービスイン
9. 2001年9月～ CD-Rへの書き込み運用の開始、Local Viewerを使用したCD-Rからの検索開始

WPMを導入した感想

◆ 良かった点、使い易い点

- ◆ ユーザーインターフェースがWebであり、操作がわかりやすい
- ◆ 名寄せ検索機能により、必要な項目をEXCEL形式にダウンロードできる
- ◆ 電子化したい帳票を比較的簡単に追加できる

◆ 苦労した点、使いづらい点

- ◆ タグ情報を認識させるためのRPG修正、サーバー設定
- ◆ セル検索キーを変更した場合、WPMサーバーへの帳票データ再送信が必要
- ◆ パソコン画面が小さい場合（800×600以下）、横スクロールが必要。また、文字が小さく見づらい場合がある。

今後の課題と展望

- ◆ **WPM対象帳票の拡大**
 - ◆ その他の大量出力帳票、またマスターリスト等にも電子化帳票の対象を広げ、利用部門の業務の効率化につなげる。
- ◆ **WPMの全国営業拠点への展開**
 - ◆ 本社の特定部門だけではなく全国の拠点で検索できるようにし、本社での帳票発送作業の軽減や、配送費の削減につなげる。
 - ◆ 帳票検索機能を提供することにより、全国営業拠点における業務の効率化につなげる。
- ◆ **CD-R媒体のセキュリティの確保**
 - ◆ 社外秘の情報が外部に漏れないようCD-R媒体の管理規定を策定し、セキュリティポリシーに反映させる。

以上で
弊社の事例発表を終わります。

ご清聴ありがとうございました。